

授業の概要

第1，2学年で学んだ歯冠修復技工学を総合的に復習し，理解を深めるとともに，臨床に対応した新しい材料や技法における基本的事項を修得する。

- 教科書：最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学（医歯薬出版）
- 授業時間：火曜日 18：00～18：45
- オフィスアワー：本田 順一 (honda.junichi@nihon-u.ac.jp)
平場 晴斗 (hiraba.haruto@nihon-u.ac.jp)
月曜日 17：00～17：45
- 成績評価：前期：定期試験（50%），後期：定期試験（40%），平常試験（5%×2回）を併せて評価する。平常試験後に解説を行いフィードバックする。
- 注意事項：各講義の初めに，当日の講義項目に関する歯科技工士国家試験，既出問題の理解度を確認し，講義にて知識の整理，重要事項の再確認を行う。該当部を教科書・ノートで復習してくる。
- 授業方法：講義形式，最初に歯科技工士国家試験，既出問題の確認を行う。第14回と第15回の平常試験と解説を行う。
- 準備学習：事前に教科書で講義項目を確認しておくこと。
- 準備学習時間：講義時間と同等の時間の予習と復習を各自で行うこと。
- 実務経験：本田 順一：現在，日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座に在籍しており，歯科医師の立場から口腔内で機能させる補綴装置を製作させるためには，本教科で学ぶ内容の理論がいかに重要であるか学ぶ場を提供したいと考えています。
平場 晴斗：歯科診療に携わる歯科医師の立場として，本教科の内容は，歯科技工士と歯科医師が連携していく上でおさえてもらいたい重要な基本的事項です。講義を通して，これまで学んできた知識をより深めてもらいたいと考えています。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月2日 平場 晴斗	1. 歯冠修復技工学概論	・ 平成30年度歯科技工士国家試験に解答し，内容の理解度を確認できる。
第2回4月9日 平場 晴斗	2. 歯冠修復技工学の概要と修復物の種類（1）（教）pp.1-10	・ 歯冠修復技工学の意義と目的，クラウン（歯冠修復物）の概要と種類を説明できる。
第3回4月16日 平場 晴斗	3. 歯冠修復技工学の概要と修復物の種類（2）（教）pp.1-10	・ 歯冠修復技工学の意義と目的，クラウン（歯冠修復物）の概要と種類を説明できる。
第4回4月23日 平場 晴斗	4. 歯冠修復技工学の概要と修復物の種	・ 歯冠修復技工学の意義と目的，ブリッジの概要と種類を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
	類 (3) (教) pp. 11-15	
第5回5月7日 平場 晴斗	5. 歯冠修復技工学の概要と修復物の種類 (4) (教) pp. 11-15	・ 歯冠修復技工学の意義と目的, ブリッジの概要と種類を説明できる。
第6回5月14日 平場 晴斗	6. 歯冠修復技工学の概要と修復物の種類まとめ (教) pp. 1-15	・ 歯冠修復技工学の意義と目的, ブリッジの概要と種類を列挙できる。
第7回5月21日 平場 晴斗	7. クラウンおよびブリッジの具備要件 (教) pp. 17-40	・ クラウンおよびブリッジにおける具備要件を列挙できる。
第8回5月28日 本田 順一	8. クラウンおよびブリッジの製作順序 (1) (教) pp. 41-57	・ 印象採得, 研究用模型, トレー, 支台築造を説明できる。
第9回6月4日 本田 順一	9. クラウンおよびブリッジの製作順序 (2) (教) pp. 58-74	・ テンポラリークラウン, ブリッジ, 作業用模型, 咬合器装着を説明できる。
第10回6月11日 本田 順一	10. クラウンおよびブリッジの製作順序 (3) (教) pp. 75-92	・ ワックスアップ (蠟形成), 埋没, 鑄造作業, 連結法を説明できる。
第11回6月18日 本田 順一	11. クラウンおよびブリッジの製作順序 (4) (教) pp. 93-103	・ 調整, 研磨, 試適, 合着を説明できる。
第12回6月25日 本田 順一	12. クラウンおよびブリッジの製作順序 (5) (教) pp. 104-114	・ レジン前装, 陶材の築盛, 焼成, CAD/CAMシステムにおける基本的事項を説明できる。
第13回7月2日 本田 順一	13. クラウンおよびブリッジの製作順序総括 (教) pp. 104-114	・ クラウンおよびブリッジの製作順序を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第14回7月9日 本田 順一	14. 部分被覆冠 (教) pp. 115-128	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部分被覆冠の種類, 特徴を述べることができる。
第15回7月16日 本田 順一	15. 前期のまとめ (教) pp. 115-146	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期の内容を総括し, 重要事項と新しい項目の再確認を行う。